

令和5年度

## 各務原市PTA活動の方針と重点

我々の各務原市は、『笑顔があふれる元気なまちへ ～心豊かで文化を育む人づくり～』を目標に、心豊かでたくましく、自立した人間形成を支える教育を推進しています。

教育長をはじめとした教育委員会からも、まちの未来を担う子どもたち一人一人が、心豊かでたくましく、一人の自立した人間として育つよう、各学校が特色ある学校づくりに邁進するための支援をするとともに、家庭・地域・学校・行政がスムーズに連携できるよう手厚い配慮をいただいています。

近年、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機にインターネット環境やモバイル端末の普及が急加速し、それにより子育て環境に影響を及ぼす新たな課題が急増して参りました。

そしてここ数年は我々PTAもコロナ禍に対応した活動を余儀なくされ、これまでのPTAが大切にしてきた人と直接触れ合うイベントなど、コロナ以前と比べ失ってしまった活動も多くなってしまいました。しかしその反面、コロナ禍においてどのような活動であれば可能なかを各務原市PTA連合会や各学校のPTAが考え行動した結果、以前には無かった新しい活動も行われる様になりました。

昨今のPTAを取り巻く環境はネガティブな要素も多く語られる時代ではありますが、今年は各務原市PTA連合会が創立され60周年となります。これまでの60年そしてこれからの60年を見据え、これからの時代のPTAとはこう在るべきではないかを考え実行に移す分岐点に立っているのではないのでしょうか。

未来に向けよりよいPTA活動が展開できる環境を整えることは、今の我々がなすべき使命ではないかと思います。

子どもたちの明るい未来を願わない大人はおられません。その大人たちの願いを少しでも具現化して行動に移せるのもPTA活動の一つの側面にはあります。それぞれが自分のできる範囲でPTA活動にエネルギーを注ぐ、そんな力をたくさん集めて、子どもたちが育つ環境をよりよいものにできれば幸いです。

この大きな変革の機に皆様とともに未来を作る一年を創造して参りましょう。

### 【目 標】

コロナを越えて、新しいPTAの在り方を問う  
これから60年の礎を創造し継承する  
～ 全ての活動は今と未来の子供たちのため ～

### 【重 点】

#### （１）子どもたちがデジタル社会を正しく生き抜くため、我々が何を学び何をすべきか考える

- ・デジタル社会が抱える問題をただ否定するのではなく、どう理解しどう利用するかを学ぶ
- ・現代の子どもたちを取り巻く環境を冷静に把握し自分の立ち回りを選択する

#### （２）アフターコロナのPTA活動とはどうあるべきかを考える

- ・コロナ禍で失った活動と新しく始まった活動をどのような形で共有・展開するのか
- ・保護者の負担感も踏まえた上で子どもたちにとって最大限の効果を生む活動とは何か

#### （３）まずは我々がPTA活動を楽しむ

- ・PTA活動の本当の楽しさを全国に発信できるPTA連合会に我々がなる
- ・PTA活動ができる貴重な時間は人生でもほんの一瞬、一緒に楽しみましょう！

## <<各務原市 P T A 連合会役員会の取組み目標>>

各単位 P T A（以下単 P）の代表によって構成される各務原市 P T A 連合会（以下市 P 連）役員会（執行部会・代議員会・各専門委員会・特別委員会）は、互いの情報を交流し合う場を積極的に持つ中でそれぞれの取組で得られた成果や課題等の情報を単 P に反映されるように努める。

また、市 P 連役員会は、市教育委員会や校長会、教頭会、そして岐阜県 P T A 連合会とも連携し子どもたちが心豊かでたくましく成長していくことを願い、活動や会議を充実させていく。具体的には各役員会において次のような取組みを推進する。

### ◇執行部会・代議員会

- ・「定期大会」、「研究大会」の企画・運営を行い、一人でも多くの会員に学びを届ける
- ・各学校が抱える問題や課題を共有し共に解決に向かう
- ・各学校の取り組みや活動を推進する上で、活動交流などの時間を設けお互いに助け合う文化を作る
- ・ネットモラル教育に関わる研修や啓発活動を行う
- ・基本的な生活習慣のひとつである「あいさつ」への取り組みを推進する
- ・親子のコミュニケーションづくりの一助となる様、「三行詩コンクール」に各校が積極的に参加する様働きかける
- ・各学校の実態を把握し、各務原市・教育委員会に対する要望を「対市要望」としてまとめ、実際に提言する
- ・県に対する要望は「県要望事項アンケート」により提言を行う
- ・岐阜県 PTA 連合会の大会や東海北陸ブロック研究大会など諸大会に参加し、それを単 P 会員に還元する
- ・単 P の役員選考規約(方法手順)等について交流し、より望ましい役員選考方法の在り方を協議する
- ・「広報誌コンクール」を開催し、単 P の広報誌作りの努力を讃える
- ・市 P 連ホームページにデジタルアーカイブを作成し、全ての会員が学びを得られる様々なコンテンツを作成する
- ・市 P 連創立 60 周年大会の事業内容を検討し、行政や諸団体とともに準備を進める
- ・様々な親子で参加できるイベントを開催し、親子の関わり作る機会を創造する
- ・メディアへの積極的なアピールと効果的な活用により、各務原 PTA 連合会の活動を他地域に発信する
- ・諸団体との交流を積極的に行い、まち全体で子どもたちを育てる環境を作る

### ◇各専門委員会（研修・広報・校外生活・学年学級）

- ・各学校の取組や活動を推進する上での課題等を交流し合う「活動交流」を中心に委員会を行う
- ・より良い活動を推進するため、必要に応じ研修会を行うなどする

### ◇特別委員会（会長が委嘱した委員で構成する）

#### 『周年実行委員会』

- ・60 周年大会を実行するにあたり、各種団体との調整・会議等を行い様々な周年事業を推進していく
- ・実務だけでなく、その志や背景も含めて 60 周年大会を記録し 70 周年に向け継承する
- ・各周年事業の実行にあたり、単 P 会長を巻き込んでチームを作りそれぞれの周年事業を進める

#### 『デジタルアーカイブ運営委員会』

- ・市 P 連ホームページに作成するデジタルアーカイブの運営を行う
- ・撮影動画の企画や撮影・編集を行う
- ・毎月のチラシ配布や SNS の活用などで、PTA 会員の方々に最新動画の周知を行う

## **<< 各専門委員会の取組み >>**

### **【研修委員会】**

- ・保護者に対し、望ましい家庭教育の在り方についての研修会等を企画し、認識を高めてもらう。
- ・時代に応じた研修内容の充実と情報の交流を図り、会員の意識高揚に努める。
- ・食育、健康安全教育、防災教育等、「親子のコミュニケーションづくり」を大切にしたい取組を構築する。
- ・学校の諸行事（講演会・体育的行事）に積極的に協力する。
- ・情報教育では、スマートフォン・SNS時代の現状理解と家庭のルールづくりについての研修や啓発活動に努める（ネット安全・安心ぎふコンソーシアム作成教材の活用）。
- ・子育て広場（家庭教育学級）の活動を運営・協力する。

### **【広報委員会】**

- ・子どもたちの活動の様子や単Pの大切にしている活動や主張を各家庭や校区全域に発信することを目的の一つにする。
- ・広報紙づくりの講習会に参加するなど、質の高い広報紙づくりに努める。
- ・広報紙展示会を通して互いに学び合う（市・県のコンクール出品を目標に掲げる）。
- ・広報紙を通して、ネットモラルの啓発に努める（アンケートや特集等記事の工夫）。

### **【校外生活委員会】**

- ・校外（地域）における子どもたちの安全確保に努める（交通安全・不審者対応・非行防止）。特にネットトラブルやネットモラル教育に関わっては他の委員会と協力し、地域の現状について交流する（Wi-Fi スポット、大規模店内の Wi-Fi スポット）。
- ・「パトロール巡回中」マークや「校外指導員証」を携帯し、地域における環境浄化や非行防止の啓発活動に協力する（パトロール巡回中マークは全会員に配付し活用を図る）。
- ・地域で児童生徒の見守り活動を行っている「見まもり隊」・「補導委員」・「交通指導員」の地域のボランティアさんと協力連携・情報交換に努める。
- ・「通学路ふれあい安全マップ」の有効活用（こども 1 1 0 番の家・危険箇所）の啓発。
- ・中学校の校外指導委員長は校区の環境美化監視員を市から委嘱され、校区の環境美化の状況を報告する。←各中学校の校外生活委員は気付いたことを委員長に報告する。

### **【学年学級委員会】**

- ・学校教育の理解に努め、心豊かな子どもに育むために学校職員と連携を図り、家庭、学校の協力関係を更に確かなものにする。また、学年学級委員会としての活動（行事）を計画実施する。
- ・学年や学級の教育活動が楽しく安全で効率良く行えるような補助や支援を行う。
- ・保護者と教師の共通理解を図り、家庭、学校との好ましい協力関係を作っていく。
- ・学級や学年の中で起こりうる、いじめ、ネットトラブルに関する情報収集に努め、早期解決・改善に向け学校職員と連携する。
- ・子育て広場（家庭教育学級）の活動を運営・協力する。